



平成21年12月21日

## 千葉物流センターの新倉庫棟建設について ～保管効率を高め、高耐震性と環境適応を兼ね備えた最新規格倉庫～

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長:中川雅行、本社:東京都千代田区、以下NTT ロジスコ)は、この度、千葉縣市川市にある千葉物流センター内において、新倉庫棟の建設に着手いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 建設の経緯

千葉物流センターは、京葉道路原木IC(1.5km)、首都高湾岸線千鳥町IC(3.0km)に近接した、都心・東京湾や成田空港へのアクセスに優れた利便性の高い立地です。また、JR京葉線二俣新町駅から徒歩5分の立地にあり、公共交通機関によるお客様、従業員のアクセスについても絶好の環境です。

当センターはNTTグループ以外のお客様向けの通販、医療機器、精密機器検査等「高付加価値サービス」を中心に提供しておりますが、恵まれた立地条件と物流センター管理能力が支持され、受注が好調で既存倉庫棟の空きが少なくなったため、増床することとしました。

### 2. 新倉庫の特徴

新倉庫棟は、倉庫部分のフロアあたり約6,825㎡(約2,064坪)を4階層、延べ面積約29,300㎡(約8,863坪)となり、当社の保有の施設の中では最大級の規模になります。

倉庫有効天井高さを6mに設定し、保管ラック配置を考慮したスパン割りにするなど、高効率な荷物保管が可能な設計としました。設備についても顧客の多様なニーズに対応できるよう、倉庫面積の50%をカバーする規模の空調設備導入が可能な受電容量を確保するとともに、どの区画においても空調が設置できるフレキシブルな構造として、良好な保管環境を実現いたします。

構造は鉄骨造を採用し、耐震基準の1.25倍と高い耐震性能を備えた安心・安全な施設となっています。

本倉庫棟は環境に配慮した施設造りや運営形態とし、工事中の重機騒音を軽減するためにアクティブ消音装置を採用するなど、周辺住宅環境にも配慮した施設施工計画に取り組みます。

新倉庫棟の建設により、千葉物流センター全体の延べ面積は60,000㎡(18,000坪)を超え、既存3棟と合わせて多様なニーズに対応できる、これまで以上に効率的なセンター運営が可能となります。当社は新倉庫棟を活用し、ロジスティクス・プロフェッショナルとしてお客様へ最適なサービスの提供を目指します。

### 3. 施設計画の概要

・所在地	: 千葉縣市川市二俣717番37	・延べ面積	: 約29,300㎡(約8,863坪)
・敷地面積	: 新規取得面積 約13,200㎡ (敷地合計 約37,000㎡)	・着工予定	: 平成22年 4月
・構造	: 鉄骨造 地上5階建(倉庫フロア 4階)	・竣工予定	: 平成22年10月末



注:イラストは完成予想図です。建物の仕様は変更される可能性があります。